

き ず な

令和2年9月30日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

す げん き みどり さと おお くさ の
住 み よ い 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

《《益世会から大草野小学校へ 素敵な贈り物》》

9月4日(金)、朝から子どもたち全員が体育館に集まり、屋外放送設備の贈呈式がありました。

式では、校長先生から益世会のことを、「大草野小学校をよりよくしようとおもっているひとたちのあつまり」という説明と益世会の概要の紹介があり、その後、益世会の中野哲太郎会長が、会の主な活動などを紹介され、「皆さんも大人になったら、今度は大草野小学校を支える側になってください。」という挨拶をされました。 前回の臨時増刊で、益世会は塩田川の草木伐採作業を県から受託し、その作業費としていただくお金の中から大草野小学校が必要としているものを寄付してこられた、と紹介しましたが、今回は、学校からの希望もあり屋外放送設備となりました。 長い間、益世会の財源となっていた樹木による利益が得られなくなった後の平成23年度からは、この受託作業を財源としてこられています。 有り難うございます！



(今回贈呈された屋外放送設備機器)



(中野会長から目録を受け取る児童代表)

(暑い中で行われた益世会員による草木伐採作業)



開催できた！！大草野小体育大会

9月27日(日)、5月から延期になっていた体育大会が、ちょっと雲が多めの、熱中症は心配しなくていいような、「ちよどよかんびゃー」の天気のもとで開会しました。



子どもたちは元気に走り、踊っていました。今年、本当に特別な

1年になりました。来年は、いつものように、大人が子どもたちに交じって、子どもたちの元気をもらいながら、家族で、地域で、みんなで、楽しめればいいと思います。



6年生が「塩田津」を歩き、学びました！

9月17日(木)、大草野小6年生の児童たちが塩田の本應寺に集合し、長崎街道の宿場町として栄え、現在、伝統的建造物群保存地区に指定されている「塩田津」の街並みを歩き、その歴史について学びました。この活動は、塩田町内の他の3小学校も同じ日に行われています。児童たちは、塩田津の検量所や国の重要文化財に指定されている西岡家住宅を訪れ、大きくなずきながら説明を聞いていました。大草野小学校の児童への説明担当は、塩田津町並み保存会のボランティアガイドとして活動しておられる、当コミュニティの一ノ瀬俊孝顧問でした。



行事予告

11月1日(日) 9時～11時まで 塩田川護岸清掃：詳細後日

11月14日(土) 男女参加型 料理教室(大草野小 家庭科室)：詳細後日

◇◇共生の気持ち◇◇

〓 編集後記 〓

私たちには、普段はそれぞれの生活圏があり、また大切なものがあつて、その中で楽しみや生きがいを見つけて日々を送っています。

当然ながら、その大切なものは、誰もが共感できるものもあれば、その人固有のものもあり、様々です。その大切なものへの向き合い方、思い入れもそれぞれです。その違いを当然と思うかどうかで、身の処し方は違ってくると思います。

「智に働けば角が立つ、情に掉させば流される、意地を通せば窮屈だ、とかこの世は住みにくい」という言葉がありますが、他者との関係性をよく表現した言葉だと思えます。

同じ職場で同じ仕事をしていても「同じモチベーション」でいることが一番難しかったと思えました。言えるのは、同じ組織に属していれば、同じ目的意識を持ち、共にその目的のために力を出し合うのが協調であり、「共生」の原点ではないかと思えます。

できるだけ、お互いに「同じ視点」を持ちたいと思います。